

# 河合塾「学びみらいPASS」の学力の三要素 タイプを「トランジションタイプ」へ再分類

（講師）溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長

桐蔭横浜大学 学長・教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

<http://smizok.net/>

E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)



## 目的

河合塾「学びみらいPASS」の結果としてフィードバックされる学力の三要素タイプを、学校から仕事・社会へのトランジション（移行）の観点から、上中下の「トランジションタイプ」へと再分類する。言い換えれば、大学進学後、将来の仕事・社会で学び成長する（しない）と予想されるタイプはどれかという観点からの再分類である。



## 再分類

■ 学びみらいPASSの受験後、学力の三要素タイプは下記の8つでフィードバックされる。

- ○○○
- ○○△
- ○△○
- ○△△
- △○○
- △○△
- △△○
- △△△

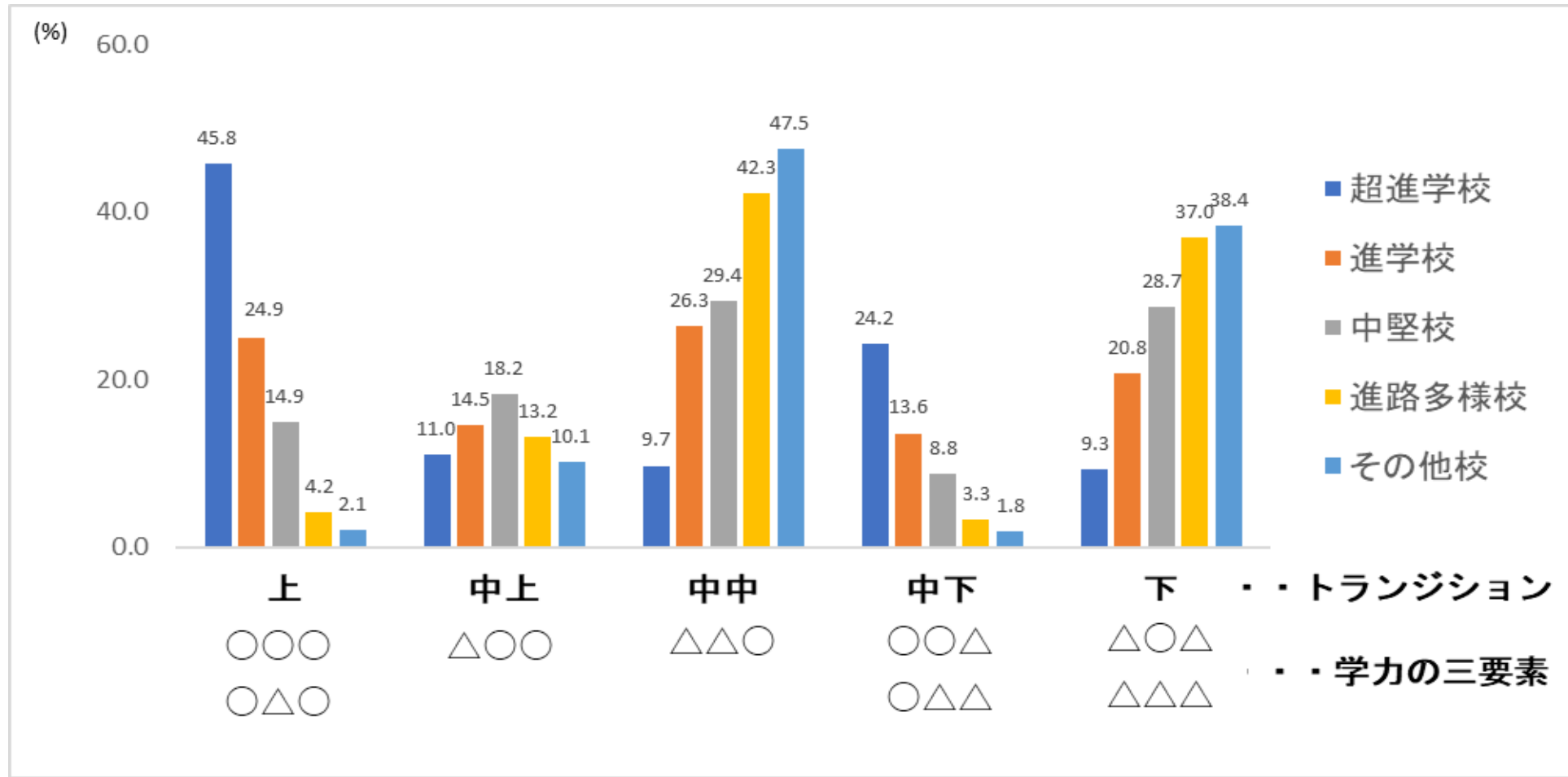
※学力の三要素タイプは、以下の指標の得点から河合塾が高群（○）、低群（△）と判定して組み合わせたもの

- (1) 教科学力（英語・数学・日本語）
- (2) リテラシー（情報収集力・情報分析力・課題発見力・構想力）
- (3) コンピテンシー（対人・対自己・対課題）

（例）○△○・・・教科学力（高）＋リテラシー（低）＋コンピテンシー（高）



## ■ 「学力の三要素タイプ」と「トランジションタイプ」の対応



\*数値は、学校法人河合塾アセスメント事業推進部より提供（2018年度）

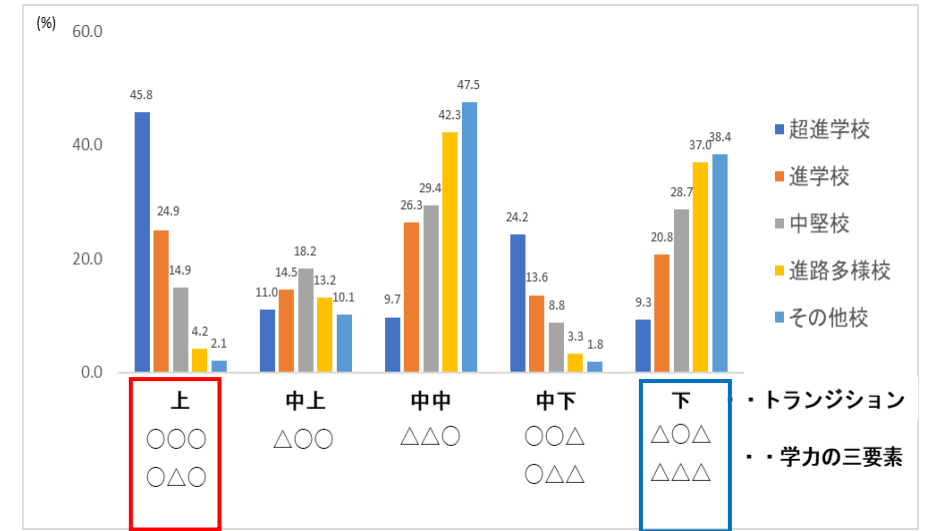
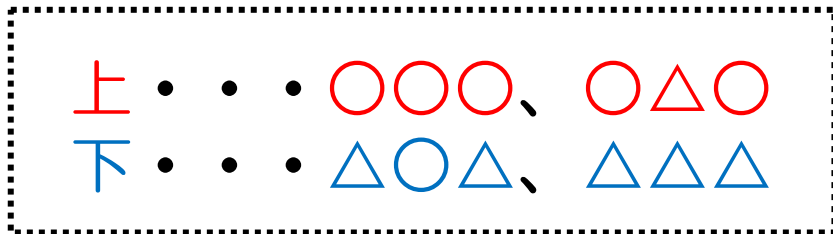
# 再分類の説明

## ■ ステップ1

高校2年生から10年間追跡調査している10年トランジション調査の結果（溝上慎一監修, 2018）に基づけば、トランジションを力強く果たすためには、

- (1) 教科学力に加えて、少なくとも
- (3) コンピテンシー

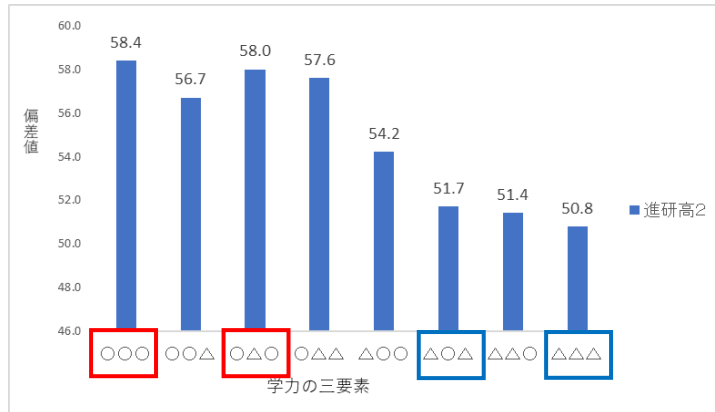
が必要であると考えられる。この観点から見れば、○\*○の組み合わせがトランジションの観点からは「上」であり、△\*△の組み合わせが「下」である。具体的には下記の通りとなる。



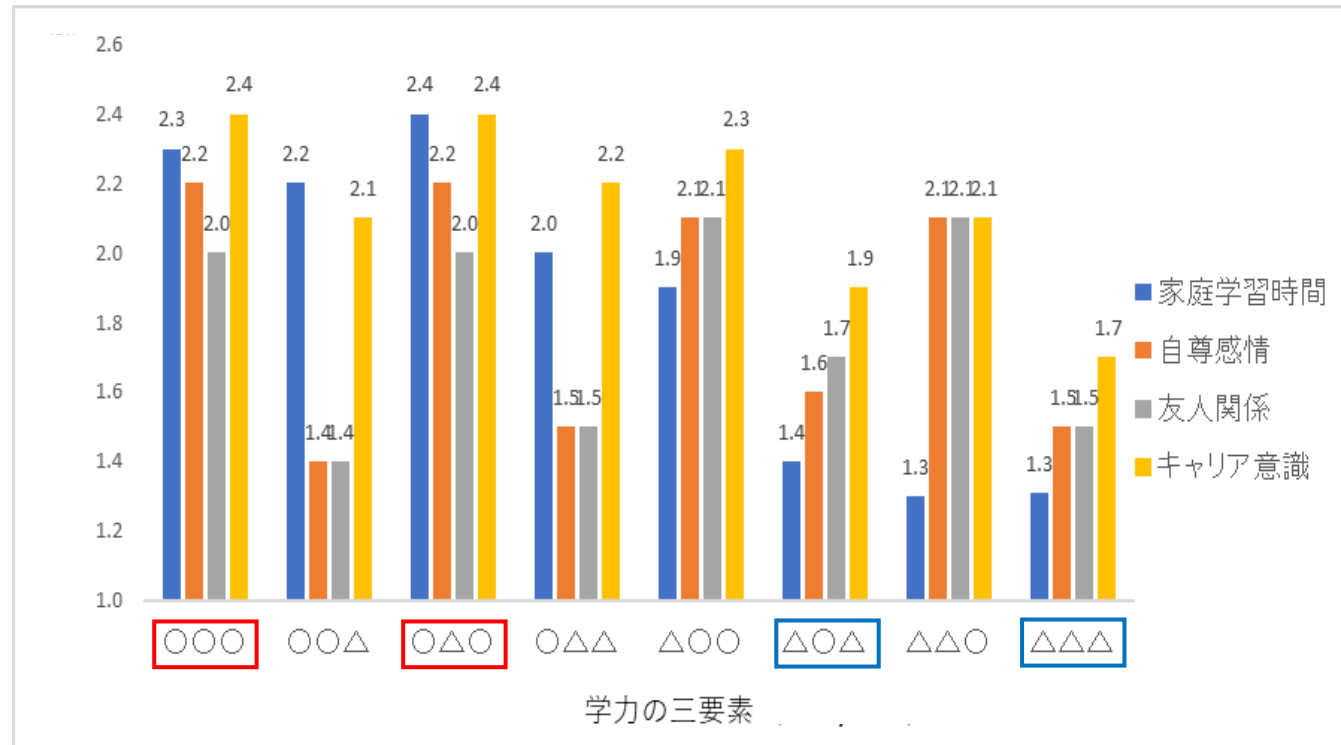
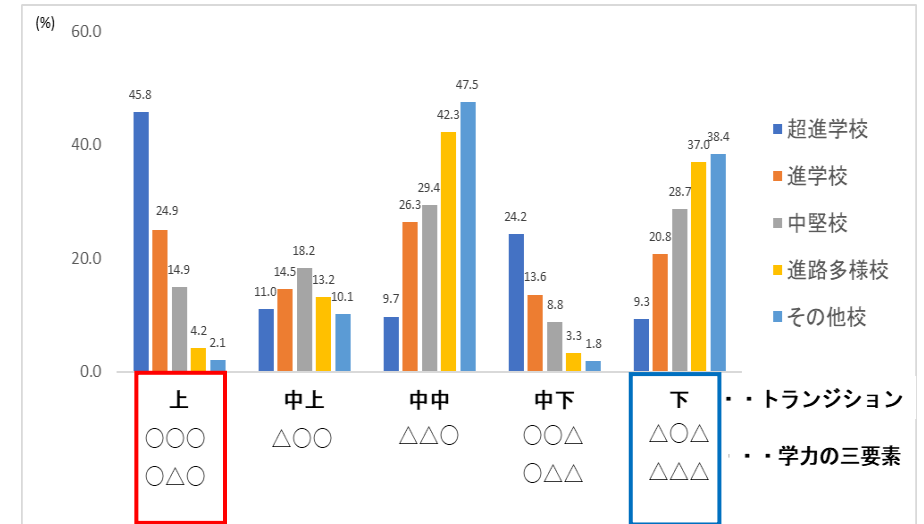


## 参考となる基礎データ

※桐蔭学園高2生（2018年度）のデータを用いて分析された結果です。



学力の三要素タイプと進研模試（偏差値）(\*1)との関連

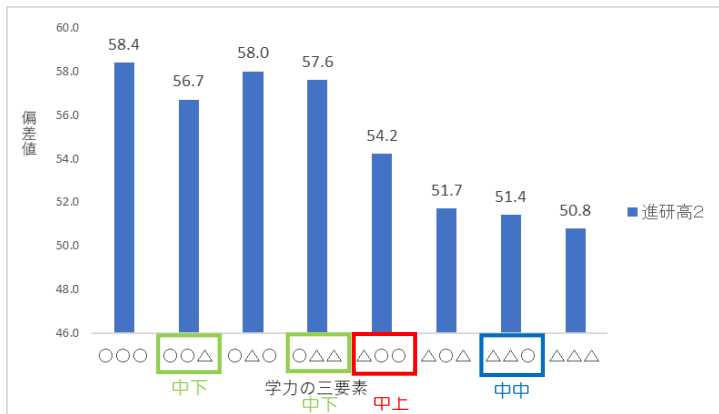


\*1: ベネッセコーポレーション

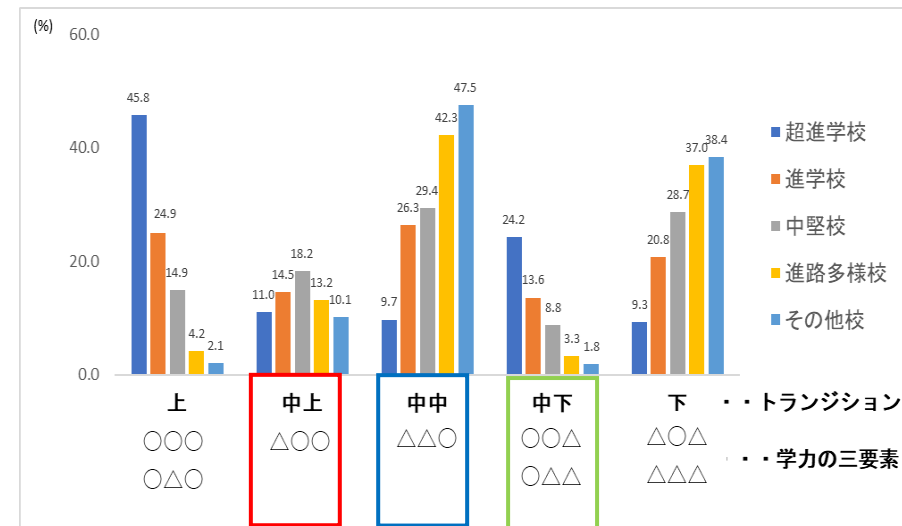
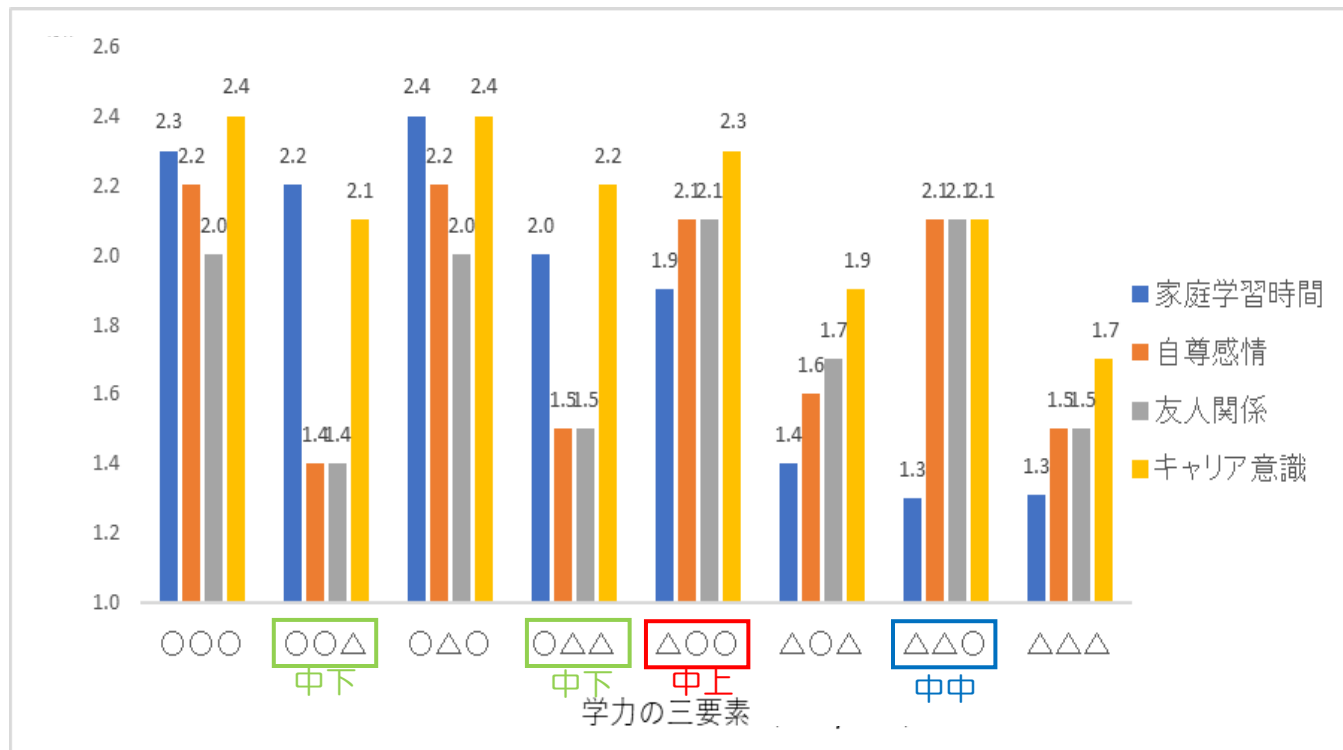
\*2: 『学びみらいPASS』所収のLEADSの指標

← 学力の三要素タイプと家庭学習時間等(\*2)との関連

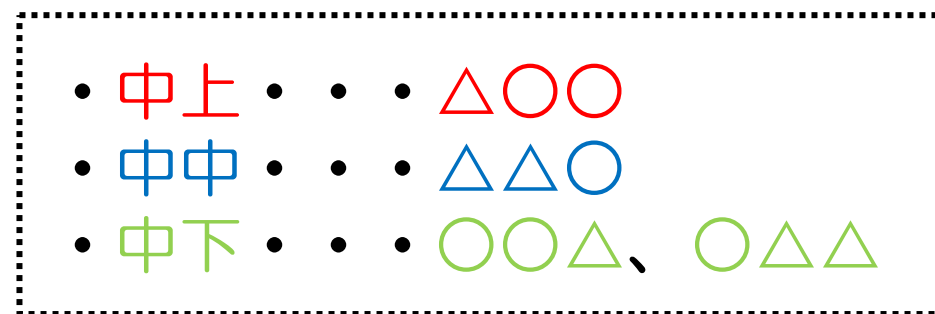
# ステップ2～残りを「中」としてさらに分類



学力の三要素タイプと進研模試（偏差値）との関連



とくに“自尊感情”“友人関係”の高低に重きを置いて「中上」「中中」「中下」へ分類

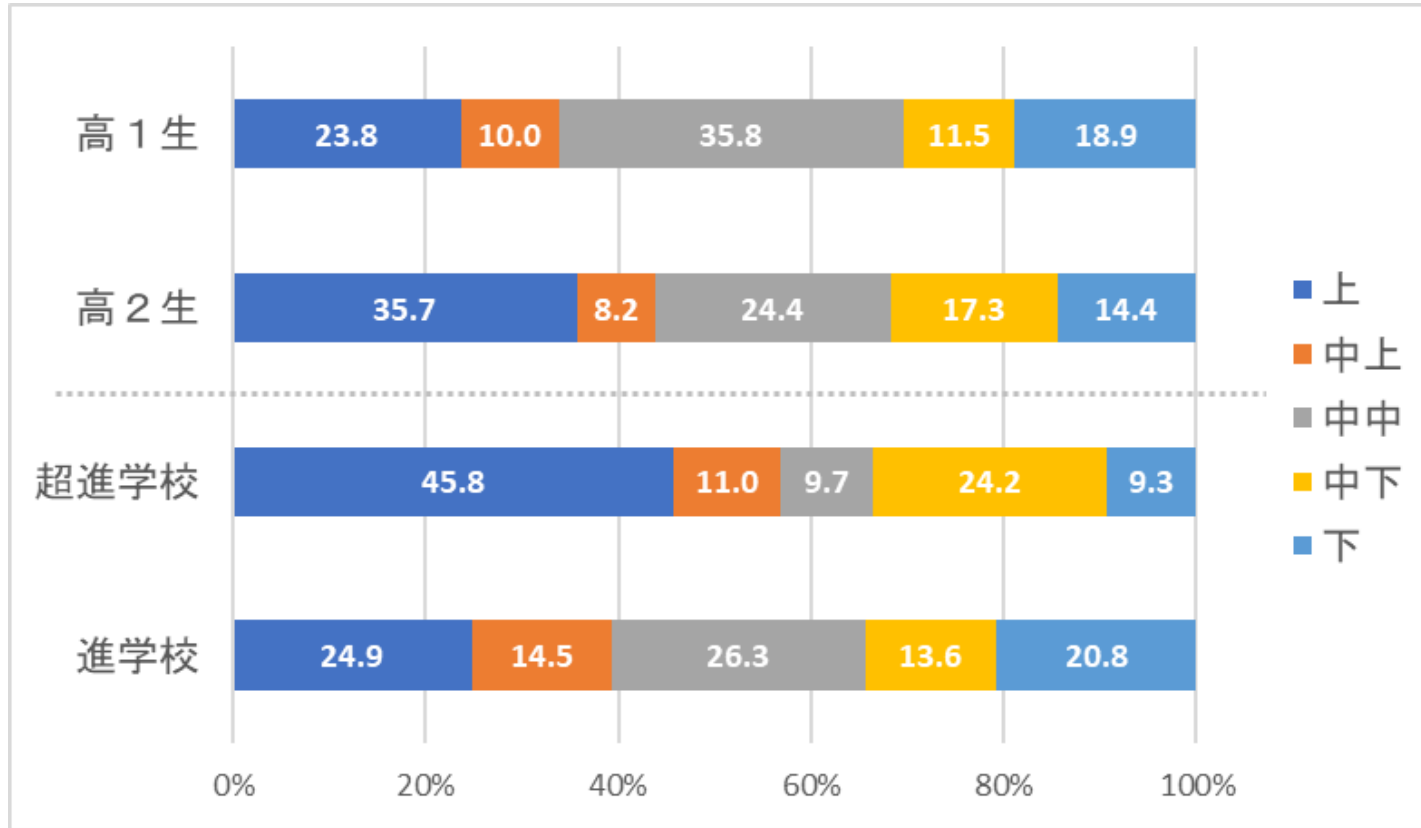


← 学力の三要素タイプと家庭学習時間等との関連



# 桐蔭学園の例

(分析1) 高1生と高2生のトランジションタイプの割合



※分析結果は、桐蔭学園「中等教育学校」「高校男子部（理数科・普通科）」「高校女子部（理数コース・普通コース）」のすべての学校・学科・コースのデータ（2018年度）を合算して算出されたものです。

なお、桐蔭学園高等学校は2018年度入学者より共学化・3コース制（プログレス・アドバンス・スタンダードコース）へと改編されている。ここでは改編前の学校の生徒たちのデータを用いている。

※ベンチマークとなる「超進学校」「進学校」の数値は図表1のものである。

## <考察>

- 高1生から高2生にかけて「上」が増加し（23.8→35.7%）、「下」が減少している（18.9→14.4%）。
- ベンチマークデータと比較すると、桐蔭学園の平均（高2生）は、「上」「下」では進学校の状況より良いが、超進学校の状況には及ばない。



# 桐蔭学園の例

(分析2) 同一個人の高1生から高2生へのトランジションタイプの移動

		高2生					
		上	中上	中中	中下	下	計
高1生	上	80.1	1.0	3.5	14.4	1.0	100.0
	中上	38.8	18.8	18.8	7.1	16.5	100.0
	中中	18.2	14.9	53.0	4.3	9.6	100.0
	中下	33.7	2.0	0.0	60.2	4.1	100.0
	下	13.7	3.1	13.7	23.6	46.0	100.0

※高1生から高2生にかけて30%以上増加したセルの数値を赤字にしている

- <考察>
- 高1生から高2生にかけて、「中下」「中上」から「上」へ移行した者が多く見られる（それぞれ33.7%、38.8%）。
  - 上→上（80.1%）、中中→中中（53.0%）、中下→中下（60.2%）、下→下（46.0%）のように、同じトランジションタイプに留まり、高1生から高2生にかけて変化しない生徒が多く見られる。

# 有り難うございました

『学びみらいPASS』に関するお問い合わせは、河合塾の営業担当もしくは下記にお願いします。

河合塾アセスメント事業推進部

(email) [mat@kawai-juku.ac.jp](mailto:mat@kawai-juku.ac.jp)

(電話) 03-6811-5510

※解説動画で示した『学びみらいPASS』等の指標の説明は解説文書（PDF）をご覧ください。

